

■ 最新鋭 1.5T 超電導MRI装置導入のお知らせ



当院では、診断能力の更なる向上の一環として、最新鋭の1.5T 超電導MRI装置(ドイツ SIEMENS社製 MAGNETOM Amira)を設置致しました。

MRI装置は磁場(磁石の中)のなかの人体に特定の電波をかけることから、体内の情報を取得し画像化する装置です。

X線による被ばくなく、非侵襲的に検査が行える画像診断装置です。

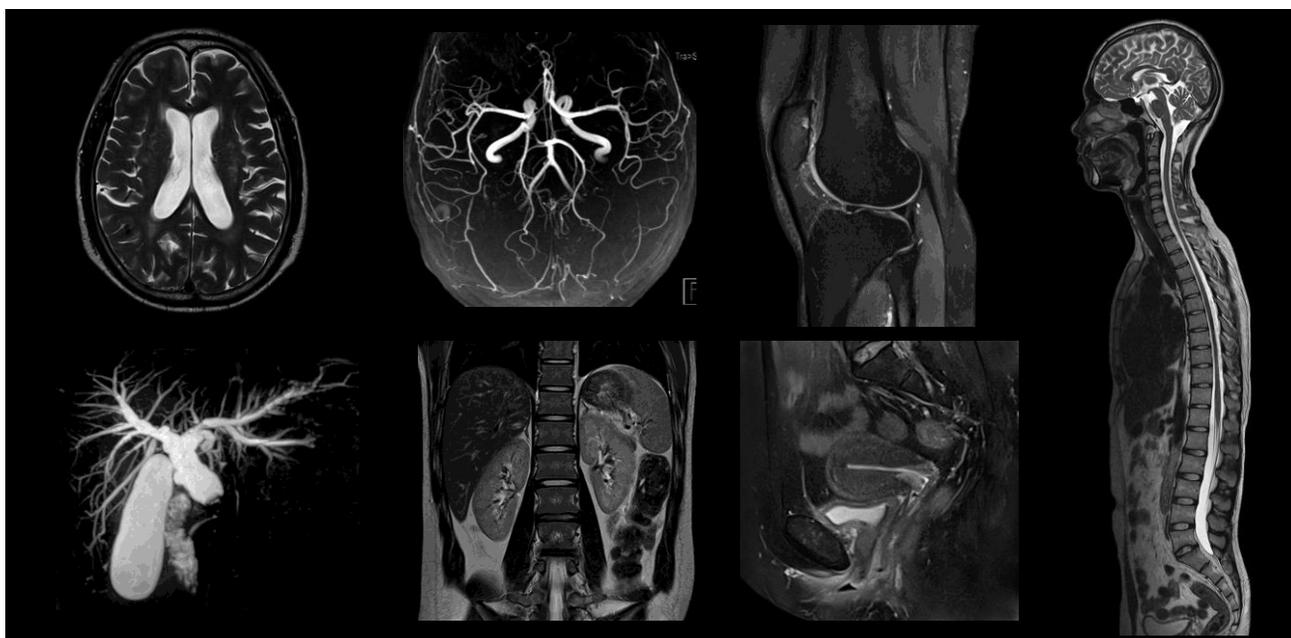
今回導入された、最新鋭の超電導型MRI装置(1.5T:注)はこれまでのMRI装置の数倍の信号が得られますので、より精細な検査が行えます。

また、このMRIは大きく進化して『生活音に近い音圧レベル』の検査環境を提供できます。そして、撮像時間も短く、色々な部位や疾患に対応した検査をご提供できます。

注) T : テスラ。磁場強度の単位。1Tは10,000G(ガウス)に相当します。地磁気は0.45Gです。

超電導MRIは以下の領域などの画像診断に有効です。

- 頭部領域(脳実質, 脳や頸部の血管, 脳梗塞 など)
- 腹部(肝臓, 胆嚢, すい胆管 など)
- 整形領域(肩や膝などの関節, 椎体 など)
- 骨盤領域(婦人科領域, 前立腺 など)



お問合せ先: 独立行政法人 二本松病院
地域医療機能推進機構

〒964-8501 福島県二本松市成田町1-553 TEL: 0243-23-1231(代表)